

琉球大学学術リポジトリ

草稿『南洋群島の研究』第五章 経済（續き） 第二節 島民の貨幣 第一～五項

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/37997

矢内原忠雄文庫

史料名	草稿『南洋群島の研究』第五章 経済(續き) 第二節 島民の貨幣 第一～五項
封筒番号	2 3 3
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 14 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

矢内原忠雄文庫

封筒番号：233

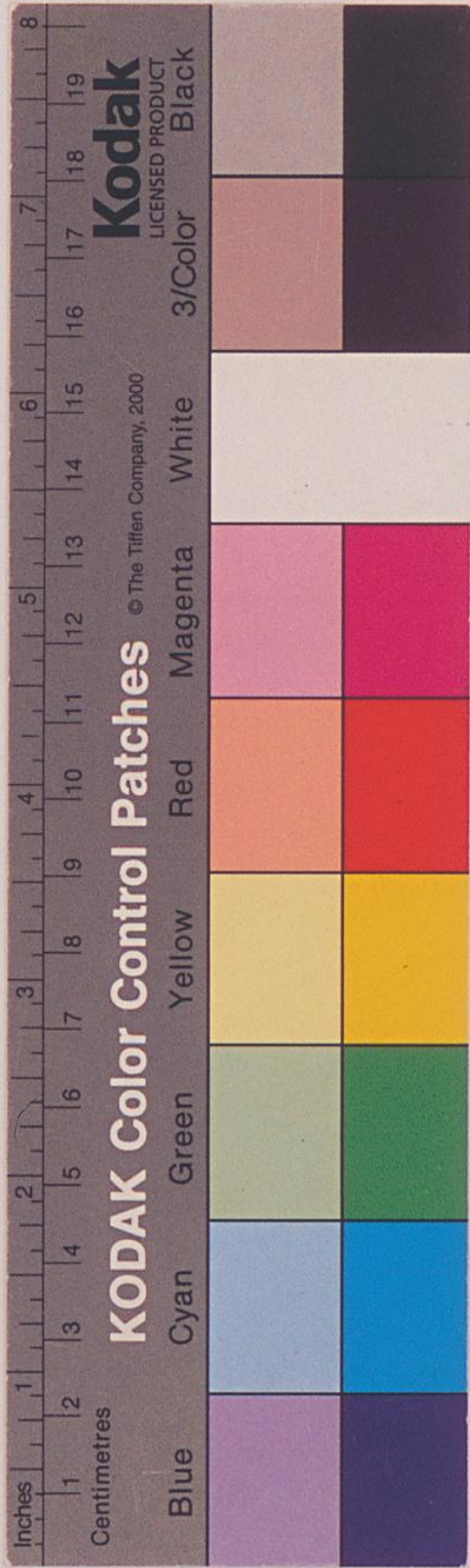
史料名	草稿『南洋群島の研究』第五章 経済(續き) 第二節 島民の貨幣 第一～五項
資料形態	B5原稿用紙
枚数	14
页数	14
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋 今泉分類記号：Y

第二章 島民の生活

一 項 総説

島民の生活は民族的自給より出発したが、その自給的生産の自然的基礎
 が狭隘なため早くから他島との間に交易を遂げた。それは前記の通りである。
 多くの文藝は郷土の島民社会内部より起りて、他島との交通より起つた。
 故に島民の生活は、島民社会内部に於ける交換の媒り物即ち貨幣たるが、
 換の目的は、島民社会内部に於ける交換の媒り物即ち貨幣たるが、
 ほとんどもしくは持たんとした傾向は、貨幣として認められる。但し貨幣の
 現実的成立は、社会内部に交換の行はるる限度に限り、その必要から
 起るべきものであり、中央と東洋と、並にこれと諸島に於ける島内交換の
 媒介物として、中東と東洋と、並にこれと諸島に於ける島内交換の媒介物として

東京文房堂製



1/12

未発達であらう、徑て信條の發達を成すことなきがたのありが、ヤツク
 及びハナ西島に於ては、國有の信條及び信條制の發達を見、ヤツク
 於ては今日も高島を以て國有の信條によりて行はれざるのみならず、

致し

至に及し

30

先づ、トウモロコシの「見やせ」

トウモロコシは、近頃、肥料の欠乏、水不足、及び、病害の流行に於て、其の生育が、阻害され、収量が減少する。此の如き、生育の阻害は、植物の根に於て、根の生長が抑制されることによる。根の生長が抑制されることは、植物の生育に於て、重要な原因の一つである。

根の生長が抑制される原因は、土壌中の窒素が不足していることである。土壌中の窒素は、植物の根に於て、重要な養分の一つである。土壌中の窒素が不足していることは、植物の根の生長を抑制し、植物の生育を阻害する。土壌中の窒素を増加させるためには、有機肥料や化学肥料を用いることが必要である。

また、土壌中のリンも、植物の根の生長に重要な役割を果たしている。土壌中のリンが不足していることも、植物の根の生長を抑制し、植物の生育を阻害する原因の一つである。土壌中のリンを増加させるためには、リン肥を用いることが必要である。

以上、植物の根の生長を抑制する原因として、土壌中の窒素と土壌中のリンの不足が挙げられる。これらの原因を解消するためには、適切な肥料を用いることが重要である。

また、植物の根の生長を促進するためには、土壌中の酸素を増加させることも有効である。土壌中の酸素を増加させるためには、土壌の改良や灌漑を行うことが必要である。

以上、植物の根の生長を促進するための方法として、適切な肥料と土壌の改良が挙げられる。



?

(1) リマム一個 (玉盤) 一帯 (飾帶) 一帯 二条
 (2) 鉄鏡二個 一帯 一帯 一帯 一帯
 (3) 鉄鏡二個 一帯 一帯 一帯 一帯
 (4) 一帯 一帯 一帯 一帯 一帯

二つがたの換り次第は、供養品と経求の程度と、また、供養品は、
 此の部は、供養品と経求の程度と、また、供養品は、
 現出に在りてあり。一とある。又、供養品は、
 供養品と経求の程度と、また、供養品は、
 長に於ては、供養品と経求の程度と、また、供養品は、
 七果すの品、自ら供養品と経求の程度と、また、供養品は、
 生じたりと云ふに於ては、輸入する。此の部は、
 度と一甲の品、自ら供養品と経求の程度と、また、供養品は、
 古の品ある。

東京文房堂製

カリーは又木鉢が却病
 其の事ハ鐵器也其 交授
 の事故とて佐智徳也を
 代表する事ありといふも
 とは其の事相する事
 鐵器は止且他の種目ハ
 其也
 交授者ハ贈答の目的
 あり。一部其の内印ハ
 佐智徳とハはる。因ハ
 此ハカリー (Kubary. S. 54
 第一節)。

カリー

カリーは又木鉢が却病
 其の事ハ鐵器也其 交授
 の事故とて佐智徳也を
 代表する事ありといふも
 とは其の事相する事
 鐵器は止且他の種目ハ
 其也
 交授者ハ贈答の目的
 あり。一部其の内印ハ
 佐智徳とハはる。因ハ
 此ハカリー (Kubary. S. 54
 第一節)。

東京文房堂製

6) *mark* 又は上記の(4)の中程に形状大口に倣い
丸すものを指称する語である。 *有田* ともこれ加工する釜見地等と「*有田*」
名称を附すもの。

(17) *liso* 算端の所印する具裝腕環、一筋の管形代用品である。

有田 中程に記号するものは(4)と異なる。(1)のフアイ管は横田氏の

指す(1) *有田* (七三三頁) には(4) 西端を印するものは *有田* ものである。 *有田* 三加工

は *有田* 付替 *有田* 具帯 「具を代換する方法」の一である。具帯の

色を力すものは(新装)編造の具帯の裏面也。和河垣板板板板

二十五年度記念展覧会 *有田* 一五二六頁 *有田* 一五二六頁

記号の適用せらるる。 *有田* 一五二六頁 *有田* 一五二六頁

解り易く *有田* 一五二六頁 *有田* 一五二六頁

(後述)

東京文芸書局
Fischelkengold

この字を「九」に
から、心は「九」に
たも「九」に
つたものと解せられ。

別冊

マニラより輸入品である。

他島との交易は

マニラからの輸入品は、
大抵、
の価格として、
か、
輸入品の上、
silibon。

マニラからの輸入品は、
大抵、
の価格として、
か、
輸入品の上、
silibon。

マニラからの輸入品は、
大抵、
の価格として、
か、
輸入品の上、
silibon。

マニラからの輸入品は、
大抵、
の価格として、
か、
輸入品の上、
silibon。

マニラからの輸入品は、
大抵、
の価格として、
か、
輸入品の上、
silibon。

マニラからの輸入品は、
大抵、
の価格として、
か、
輸入品の上、
silibon。

マニラからの輸入品は、
大抵、
の価格として、
か、
輸入品の上、
silibon。

此の文は、
 参考。
 池田

マーケットに於てはアット (Ault) と称する固有の貨幣がある。

これは群島中マビエル及びハリック池湖のみに産する海草 (Spadying) の葉

かきと取りこれを用いたものである。 (Fischer, O. Ethnologische Expeditionsreisen)

一三〇頁、相同七〇一七二頁。

幣はたゞ、
 身具、
 身具、
 身具、

身具は用せられ、
 身具、
 身具、
 身具、

身具は、
 身具、
 身具、
 身具、

身具は、
 身具、
 身具、
 身具、

身具は、
 身具、
 身具、
 身具、

Finschの語彙知物に最後
Jaluitの語彙に付
(Finsch, Ethnol. Erfahr. S. 130.)

ルンデンは手製物か近き比較物に属す 未だ四と意味す
島語は製造物も未だは 持て行くに意味する語一か無
かたはるは前止に 交易に於ても 此種器具等を使用す
昔の物々交換を主として 於ることは フィンランドの
報告するに如し 其の事小に於ては 其の
要するはルンデんに 固有の貨幣を以て 交易は 極めて
少くは 僅かに 僅かに 僅かに 僅かに 僅かに 僅かに
ルンデンは 貨幣に近き物も有らざりしが 其の
物

ルンデ

ルンデ

東京文房堂製

一行アケル

第五項 和十、

和十、島々も固有の貨幣は冬草、織布、帯、柳子縄、

等は交易物件と有り在りても、

と雖も、一交易せしむる事なき。

（格身具たることなし）未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は

未だ十分は